

漁海況情報

第568号(令和元年10月15日発行)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

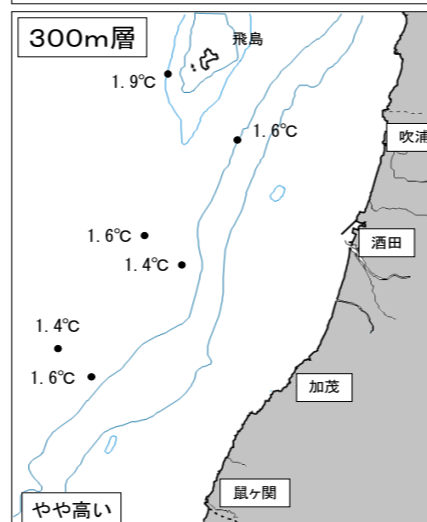
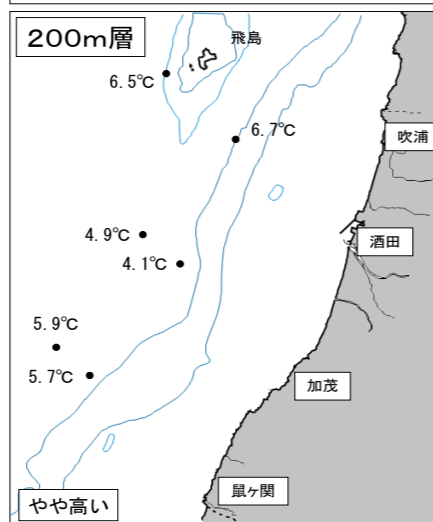
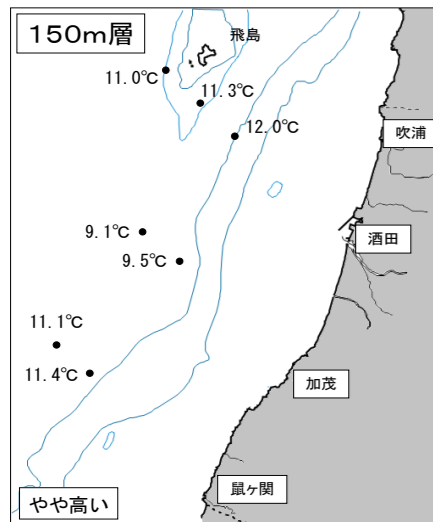
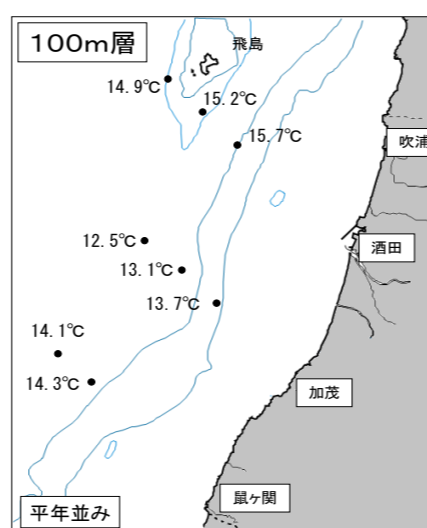
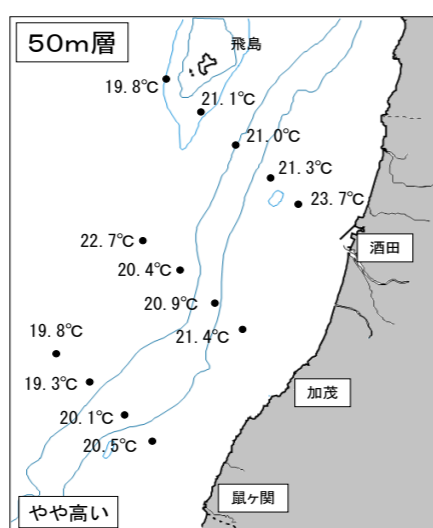
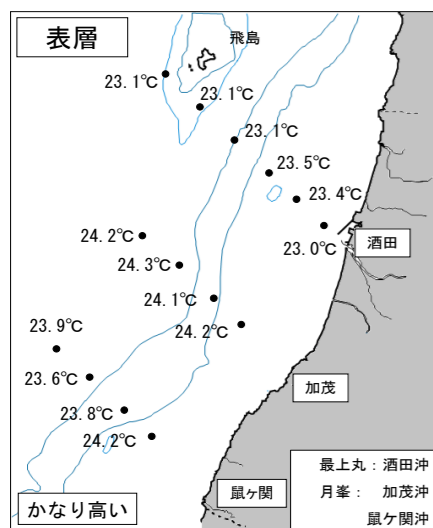
- ・庄内総合支庁水産振興課「月峯」と水産試験場「最上丸」は、10月1日と8日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層は「かなり高い」、50m層および150m層～300m層は「やや高い」、100m層は「平年並み」でした。
- ・9月の地先水温は鶴岡市加茂(水産試験場)では「平年並み」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)では「やや高い」でした。
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構は、10月8日に「2019年度第3回日本海海況予報」を発表しました。
 - 日本海北部における対馬暖流域の表面水温および50m深水温は「平年並み」で経過する。
- ・大型クラゲはまだ散発的な出現が見られます。今後の動向にご注意ください。
- ・水産試験場の漁業試験調査船「最上丸」は第5代目となり、9月27日に酒田港へ入港しました。

各層別の平均水温(10月観測値)

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	23.7	20.9	14.2	10.8	5.6	1.6
前年差	+1.3	-0.3	+1.9	+3.4	+0.9	+0.0
平年差	+1.5	+1.4	+0.6	+1.3	+0.7	+0.2
評価	かなり高い	やや高い	平年並み	やや高い	やや高い	やや高い
(前月評価)	(やや高い)	(平年並み)	(平年並み)	(やや高い)	(やや高い)	(やや高い)

評価の表現:”平年並み”は約2年に1回,”やや”は約4年に1回,”かなり”は約10年に1回,”はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水温(9月)

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	25.0	+0.7	+0.5	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	25.7	+1.3	+0.8	やや高い

1 2019年度第3回日本海海況予報

(国立研究開発法人水産研究・教育機構 10月8日プレスリリースより作成)

今後の見通し(2019年10月中旬～12月)のポイント

- ・対馬暖流域の表面水温は”平年並み”で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は日本海北部及び西部ともに”平年並み”で経過する。



2019年10月中旬～12月の海況

- 隠岐諸島北東の暖水域は停滞するとともに、一部が分離して東進し、能登半島北方に分布
- 男鹿半島西方の暖水域は勢力を拡大し、佐渡島北方～男鹿半島西方に分布する
- 島根沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並みでやや離岸
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや大きくやや接岸
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくやや離岸
- 入道崎沖の冷水域の張り出しは、やや小さくかなり離岸

2 大型クラゲ出現情報

○庄内浜での大型クラゲ入網情報は、前回情報以降9月11日～10月11日現在で4件あります。詳細は以下の通りです。※いずれも底びき網漁業。

入網日	入網場所	個体数	クラゲのサイズ
9月11日	鼠ヶ関沖	1個体	60cm
9月13日	鼠ヶ関沖	2個体	40cm、50cm
9月25日	鼠ヶ関沖	2個体	50cm
9月30日	鼠ヶ関沖	1個体	60cm

○一般社団法人 漁業情報サービスセンターによると、現在出現のピークは過ぎたと考えられますが、まだ散発的な出現が見られるとのこと。定期的に情報を確認してください。

最上丸が新しくなりました



- ・9月27日に新しい最上丸が酒田港に入港しました。
- ・全長44.26m、総トン数198トンと大型になり、調査漁具が常設されているため、装備を入れ替える手間が省け、要望に素早く対応できます。
- ・海底地形探査装置や計量魚群探知機などの最新機器や、低温活魚水槽などの鮮度保持のための機器を搭載しており、最先端の試験研究を実施していきます。
- ・最大40名の乗船が可能で、操業見学実習など、試験研究以外でも活躍できます。
- ・今後とも県民の皆さんのお役に立つ調査船として、頑張って参ります。

9月の漁況

- 延べ操業隻数は2,135隻、総漁獲量は642トンで前年比126%でした。
- 底びき網漁業の漁獲量は188トンで前年比122%でした。タイ類、ハタハタ、ホッケおよびスルメイカは前年を上回り、ヒラメ、マガレイ、マコガレイ、ムシガレイ、その他カレイ、アンコウおよびアカラは下回りました。
- 採貝藻漁業の漁獲量は17.6トンで、前年比117%でした。アワビは前年を下回りました。
- はえなわ漁業の漁獲量は13.9トンで前年比49%でした。ノドグロ(アカムツ)は前年を上回り、タイ類、ブリ類、サワラおよびアマダイは前年を下回りました。
- 定置網漁業の漁獲量は3.4トンで前年比87%でした。ブリ類およびアオリイカは前年を上回り、サケおよびアジは前年を下回りました。
- その他の漁業では、いか一本釣り漁業のスルメイカ、あまだいさし網漁業のアマダイおよびかご漁業のバイ類は前年を上回り、一本釣り漁業のブリ類は前年を下回りました。

* 前年比は平成26～30年までの平均値と比較した値です。
 * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
 * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	87	334	460	138	253	222	128	513	2,135	122%	99%
漁獲量	10,375	10,920	419,215	52,199	34,906	21,950	5,365	87,063	641,992	96%	126%
前年比	126%	230%	88%	97%	114%	125%	157%	118%	96%		
前年比	105%	73%	151%	96%	108%	108%	58%	96%	126%		

底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	26	66	78	27	156	353	88%	89%
タイ類	371	14,436	440	84	4,035	19,366	92%	159%
ヒラメ	594	143	151	99	91	1,078	90%	45%
マガレイ	708	176	2,876	702	1,491	5,953	42%	65%
マコガレイ	106	1,435	1,378	504	202	3,624	92%	69%
ムシガレイ	152	989	2,860	1,128	1,329	6,458	158%	80%
ヤナギムシガレイ	439	80	2,570	1,217	557	4,862	109%	98%
その他のカレイ類	116	38	1,996	481	1,381	4,011	127%	80%
ハタハタ	287	60	550	1,987	1,916	4,800	45%	135%
ホッケ	502	40,566	512	284	3,076	44,940	298%	507%
アンコウ	253	654	1,492	951	1,236	4,586	90%	58%
ノドグロ	63	417	342	369	585	1,777	121%	113%
アカラ	0	11	50		3,775	3,837	56%	45%
マダラ	391	1,717	1,400	257	25,980	29,746	241%	96%
紅エビ	4	2	52	11	13,992	14,061	95%	114%
スルメイカ	176	853	1,210	452	4,253	6,943	111%	126%
タコ類	64	93	543	220	1,742	2,662	94%	90%
その他	3,900	8,830	4,750	1,712	10,488	29,679		
計	8,124	70,499	23,171	10,459	76,129	188,382	128%	122%
前年比	126%	168%	108%	96%	115%	128%		
前年比	118%	176%	102%	116%	100%	122%		

採貝藻漁業

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	3	169	5	51	73	65	60	174	600	125%	105%
サザエ	85	2,621	136	1,182	2,746	1,748	1,603	5,566	15,687	125%	112%
アワビ	51				78		13		142	91%	28%
その他		1,764			36				1,800		
計	136	4,385	136	1,182	2,859	1,748	1,616	5,566	17,629	137%	117%
前年比	78%	152%	95%	151%	76%	178%	101%	220%	137%		
前年比	37%	72%	28%	194%	130%	207%	117%	170%	117%		

はえなわ漁業

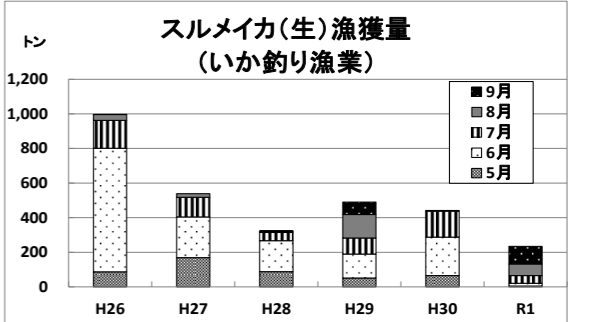
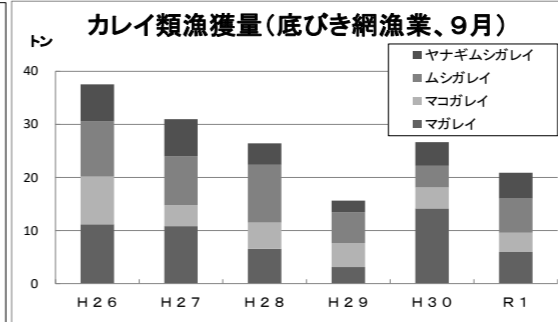
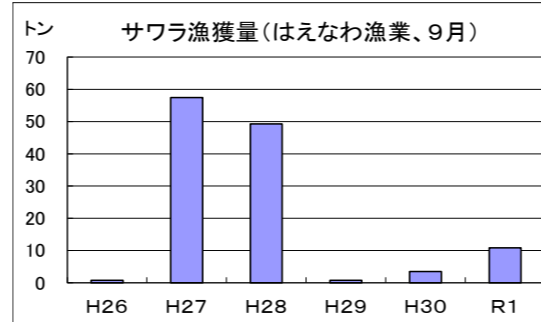
支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	18	3	23	10	29	65	58	110	316	108%	86%
タイ類	15		23	15	43	43	46	201	387	34%	22%
ブリ類			16				18	9	43	26%	8%
サワラ	1,178		804	362	453	2,154	3,445	2,437	10,833	311%	48%
メバル類		216		5	22	18	1	60	322	61%	68%
ノドグロ(アカムツ)		15	22		140	116		231	523	114%	198%
アマダイ							2	161	163	61%	35%
その他	92	35	80	17	135	171	153	994	1,676		
計	1,284	266	945	399	794	2,502	3,664	4,093	13,947	169%	49%
前年比	162%	42%	401%	164%	149%	272%	218%	127%	169%		
前年比	107%	19%	73%	131%	44%	59%	47%	41%	49%		

定置網漁業

支所	吹浦	加茂	由良	豊浦	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	6	2	13	8	29	107%	97%
サケ	13	9	40	36	97	18%	17%
ブリ類		4	753	593	1,350	155%	147%
アジ		48	408		456	66%	37%
アオリイカ		16	119	64	199	183%	117%
その他	70	42	1,060	95	1,266		
計	82	118	2,380	788	3,368	104%	87%
前年比	84%	28%	97%	290%	104%		
前年比	69%	83%	78%	142%	87%		

その他の漁業

漁業種類	船凍いか釣り漁業	いか一本釣り漁業	さし網漁業	あまだいさし網漁業	ごち網漁業	その他一本釣り漁業	かご漁業	
延べ操業隻数	16	213	229	41	58	150	82	
総漁獲量(kg)			4,879	3,216	11,736	2,767	6,946	
前年比			173%	134%	120%	157%	170%	
前年比			68%	126%	105%	64%	182%	
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ウスメバル	キス	アマダイ	タイ類	ブリ類	バイ類
漁獲量(kg)	241,528	101,670	2,894	473	2,802	11,309	1,040	6,946
前年比	57%	-	281%	105%	137%	121%	243%	171%
前年比	113%	699%	93%	103%	140%	108%	48%	182%



最上丸の調査予定 (10月中旬～11月上旬)

- 海底地形探査装置を使った調査を行います
- 海洋観測を行います。

みなさま、調査への御理解・御協力
 よろしく願います。

